

# ハッコー シュリンクメイト

Shrink Mate  
No. FV841-81

## 取扱説明書

このたびは、ハッコーシュリンクメイトをお買い上げいただき  
まことにありがとうございます。

この説明書をお読みになり、正しくお使いください。

また、お読みになった後も、後日お役に立ちますので、大切に保管しておいてください。

### 警告

人体や製品に損傷を与える危険性のある場所には警告・注意文を表示しています。  
表示が外れた場合は再度表示し直してください。

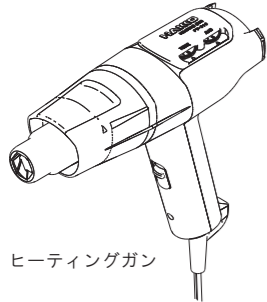
**注意** ハッコーシーラーを持ち運ぶ際は、ハンドル部のみを  
持たないように注意してください。

### 1. セット内容

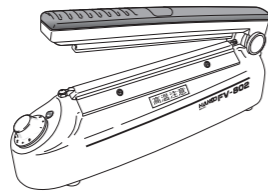
まず最初にセットの内容をご確認ください。

ヒータリングガン	1
シーラー*	1
シュリンクフィルム（ロール状）	1
取扱説明書	1

\*工場出荷時は溶断でセットされています。

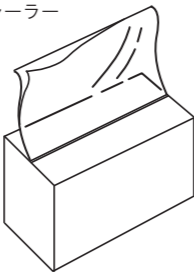


ヒータリングガン



シーラー

シュリンクフィルム  
200mm×100M  
(フィルムは二重に  
なっています。)



### 2. 仕様・交換部品

#### ●ハッコーヒータリングガン

品番	FV310-81
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1000W
最高温度*	530℃ (50℃～530℃連続可変)
風速	600m/min
風量	0.15～0.25m <sup>3</sup> /min
寸法(除コード)	240(W)×190(H)×70(D)mm
重量(除コード)	0.6kg

\*吹出し口から10mmで測定

#### ●ハッコーシーラー

品番	FV802-02
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	溶着用ヒーター使用時 260W 溶断用ヒーター使用時 240W
寸法(除コード)	80(W)×200(H)×330(L)mm
重量(除コード)	2.7kg
標準付属品	溶着用ヒーター/2本、溶断用ヒーター/2本、 フッ素樹脂テープ/2枚 粘着テープ（補助テープ付）/2枚

#### ●シュリンクフィルム

品番	841-02
形状	ロール状（二重）
寸法	幅200mm×長さ100M
厚さ	15μm
収縮率	タテ：58%、ヨコ：60%
材質	ポリオレフィン系フィルム

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

#### ■交換部品

品番	部品名	仕様
A5039	ヒーター	1000W

#### ■交換部品

品番	部品名	仕様
306-H	溶着用ヒーター	1.6×200mm 5本入
307-H	溶断用ヒーター	ピアノ線状 5本入
306-2	フッ素樹脂テープ	ヒーターカバー用 5枚入
307-3	粘着テープ （補助テープ付）	ヒーター保護用 5枚入
A1545	圧着パッド	シリコン製

#### ■交換フィルム

品番	部品名	仕様
841-01	シュリンクフィルム ロール状（二重）	幅250mm×長さ100M
841-02	シュリンクフィルム ロール状（二重）	幅200mm×長さ100M

#### ■交換部品

品番	部品名	仕様
A1563	ヒーター交換セット/ 溶断用	ヒーター 5本入 フッ素樹脂テープ 5枚入 粘着テープ（補助テープ付） 5枚入

### 3. 安全及び取扱い上のご注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**：誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**：誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

#### 警告

取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

##### ヒータリングガン

- 火薬、引火性のあるガスや材料の近くで使用しないでください。
- ヘアドライヤーとして使用しないでください。
- 人体・動物などに向けて使用しないでください。
- パイプなどの金属部分や熱風に触れないでください。
- 使用中や使用直後はヒーター周辺部に触れないでください。
- 水中での使用や水につけたり、水をかけたりしないでください。
- 使用後は必ずスライドボタンを“I”に切り換えて90秒以上クールダウンしてください。収納時は5分以上クールダウンし、本体が冷却された後収納してください。

##### シーラー

- 使用されるコンセントが取扱説明書の「2.仕様」に掲載している電圧、電力がとれることを確認してから使用してください。タコ足配線、延長コード（コードリール）を使用されずと機械が正しく動かないばかりか火災の危険性があります。規定電圧以外の電源に接続すると機械故障、ブレーカOFF、火災など思わぬ事故が発生する危険があります。また、電源プラグは根元まで差し込んでから使用してください。
- 本体のシール部分は、ランプが点灯している間加熱され高温となっています。また、ランプが消えてからもしばらくは余熱で熱くなっています。やけどの恐れがありますので、シール部分には絶対に手を触れないでください。
- 連続使用の場合は、15秒サイクル以上の間隔で使用してください。15秒サイクル以上の間隔をとらないで連続使用すると、火災などの恐れがあります。
- フッ素樹脂テープから煙や炎が発生した場合は、速やかにハンドルを押さえるのをやめて、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 感電の危険がありますので、シール部に金属製の物を差込まないでください。

##### 共通

- 部品交換や修理の時は必ず電源プラグを抜き、冷却されてから行ってください。
- 電源コードが断線した場合は、危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格がある人に交換してもらう必要があります。
- 修理技術者以外の方は絶対に分解・修理は行わないでください。また改造は行わないでください。

●管理責任者の許可なく、経験や知識のない者（子供を含む）が、この製品を使用しないように注意してください。

●子供がこの製品で遊ばないように注意してください。

●事故や故障につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

#### 注意

##### ヒータリングガン

- 指定電圧以外では使用しないでください。
- 長時間同じ場所に熱風を当てないように注意してください。
- 使用直後、冷却せずに下向きの状態で放置しないでください。
- ファンが動かない異常が発生した場合、下向きにしないでください。
- 弊社製の専用ノズル、パーツ以外は使用しないでください。
- 本機の異常（異常に熱い、異音・異臭がするなど）に気がついた場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店まで点検、または修理の依頼をしてください。
- 使用中や使用直後にヒーター周辺部に触れたり燃えやすい物に近づけないでください。
- 損傷の恐れがあるので、衣類の乾燥などに使用しないでください。
- 噴出し口や吸入口を塞いだり、内部に異物を入れたり、ホコリや熱風を吸い込ませないでください。
- 子供や幼児の近くで使用しないでください。
- 安全のため、安全手袋、安全ゴーグル、耳栓、安全帽などの安全保護具を必要に応じて着用し、使用してください。
- スタンドなどに固定して連続運転を行う際には、必ず目の届く範囲で使用し、定期的に安全確認を行ってください。
- 通電したまま、床や机などに放置しないでください。
- 雨が降っている中や、湿った場所で使用しないでください。
- 電源の開閉は頻繁に行わないでください。
- 高温多湿地域や高地、寒冷地では十分な性能が発揮できない場合がありますので注意してください。

##### シーラー

- 粉塵が充満している、常温でない、温度が高い場所や熱に弱い敷物の上で使用しないでください。
- 本品を濡らしたり、濡れた手で使用、水物（汁物）の包装には使用しないでください。
- 水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。
- 収納時は本体が冷却された後収納してください。

##### シュリンクフィルム

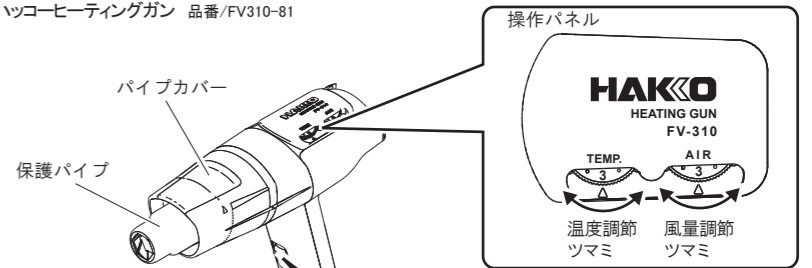
- 火元を避けて、直射日光に当たらないよう30℃以下の乾燥した冷暗所に保管する。

##### 共通

- 本機の使用目的以外に使用しないでください。
- 電源コードやプラグが痛んでいる、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。
- 濡れた手で触ったり、コードや本体を濡らして使用しないでください。
- 本品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 交換部品には、純正部品を使用してください。
- 作業場所から離れる場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
- コードの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。
- コードを熱、油、角のものが付いた所に近づけないでください。
- 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 電源コードやプラグが痛んでいる、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- 修理技術者によって点検、部品交換を定期的に行ってください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

### 4. 各部名称

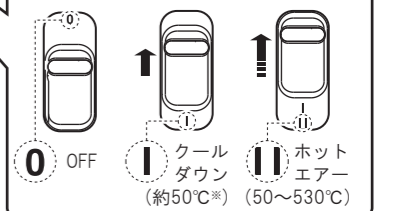
●ハッコーヒータリングガン 品番/FV310-81



#### ＜温度と風量の調節方法＞

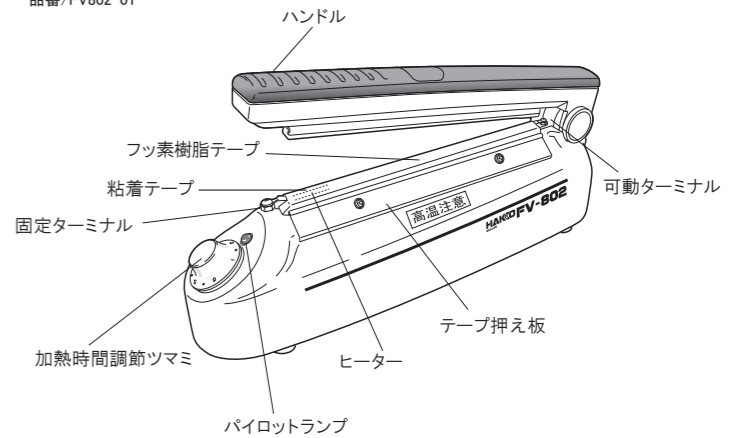
操作パネルの温度・風量調節ツマミを回して調整します。（選択範囲は1～5）数字が大きくなるほど温度・風量はそれぞれ高く、大きくなります。

#### スライドボタン（スイッチ）



※モーターが動くので、クールダウンの時も室温まで温度が下がることはありません。

●ハッコーシーラー 品番/FV802-01



### 5. 使用方法

①シーラーでシュリンクフィルムを溶断します。

●シーラーの電源プラグをコンセントに差し込みます。（ハンドルを下げると、パイロットランプが点灯しスイッチが入ります）

#### 注意

電源は100Vです。

●加熱時間調節ツマミを3～4の目盛りに合わせてください。

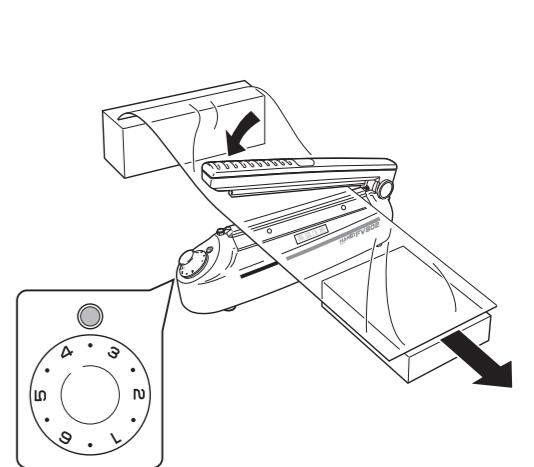
●フィルムを必要量（シュリンクする物より少し大きめに）引き出します。

●シーラーに溶断する位置までフィルムをはさみ、ハンドルを押し下げます。（パイロットランプが点灯します。）

●パイロットランプが消え、1～2秒後にフィルムをひっぱりながらハンドルを上げてください。

#### 注意

シーラーを短いサイクルで連続使用すると故障の恐れがありますので、連続使用の場合は10～15秒サイクル以上の間隔でご使用ください。



ハンドルを強く押さえないでください。

必ずパイロットランプを確認してください。

（パイロットランプ表示）

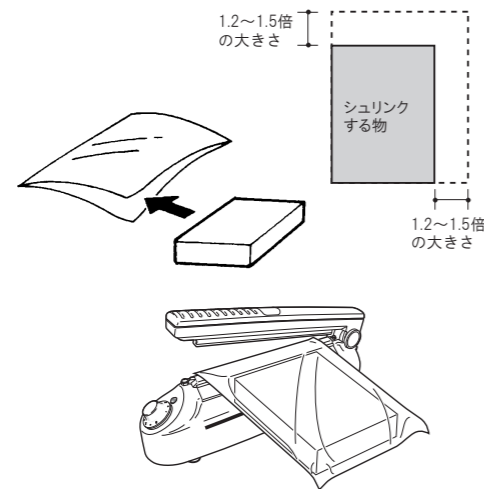


パイロットランプ点灯中にフィルムをひっぱりすぎないでください。不完全な溶断になり、シュリンク時に破れることがあります。

## 5. 使用方法

②シール（密封）します。

- シュリンクする物を①で溶断したフィルムの中に入れ、開いている部分をシールします。



③ 空気穴を開けます。

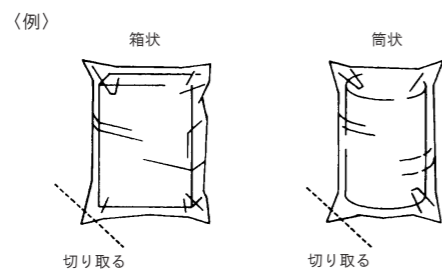
- シールしたフィルムの角を（3mm～5mm）ハサミなどで切り取って、穴を開けます。

- 空気穴は、目立たない位置を選んでください。

### ⚠ 注意

空気穴は、密封された空気を逃がすために開けておきます。

空気穴が大きすぎるとシュリンク時に破れることがあります。



④ ヒーティングガンでシュリンクします。（熱風をあてます）

- ヒーティングガンのスイッチを“0（OFF）”にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

### ⚠ 注意

電源は100Vです。

### ⚠ 注意

使用しない時は、必ずスイッチを“0（OFF）”または“1”にしてください。

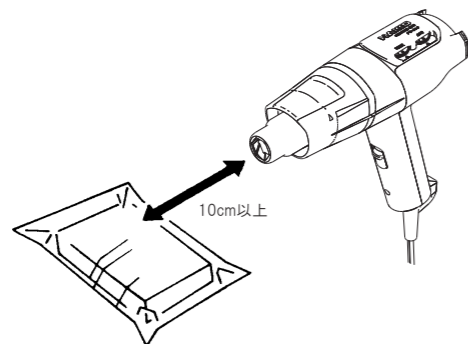
ヒーティングガンは使用中、パイプなどが熱くなりますので、やけどや火災にご注意ください。

- 操作パネルの温度・風量つまみを回して調整します。シュリンク加工に適した組み合わせは右の表を参考にしてください。

- スイッチを“11”にし熱風を出します。

- フィルムからヒーティングガンを10cm以上はなして熱風を均等に当ててください。（「熱風のあて方」参照）

温度調節つまみ 風量調節つまみ	1	2	3	4	5
1 (0.15m <sup>3</sup> /min)		○	○		
2 (0.17m <sup>3</sup> /min)		○	○		
3 (0.2m <sup>3</sup> /min)		○	○		
4 (0.23m <sup>3</sup> /min)		○	○	○	
5 (0.25m <sup>3</sup> /min)		○	○	○	○



⑤ ご使用後は、

- ヒーティングガンのスイッチを“1”にし、熱を冷ましてから“0（OFF）”にしてください。

- ご使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（抜く時はプラグの部分を持って抜いてください。）

### ⚠ 注意

ヒーティングガンは、火災の原因になりますので、よく冷ましてから収納してください。

熱風のあて方。

ヒーティングガンはフィルムから10 cm以上離し、熱風を均等に当ててください。

### ⚠ 注意

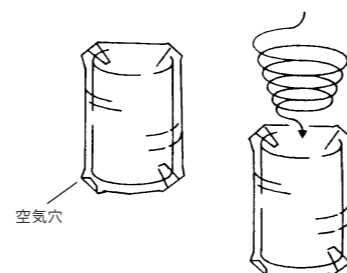
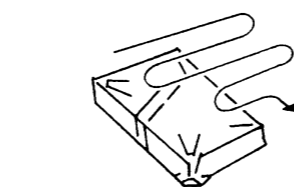
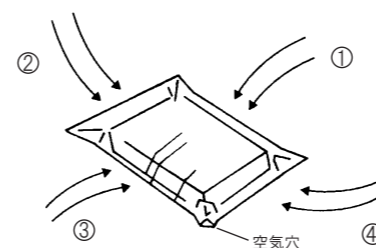
一部分に熱をかけすぎると、フィルムが破れることがありますので、ご注意ください。

〈箱型〉

1. 空気穴に遠い側面から順番に熱風をゆっくり均等に当てます。
2. 裏面の空気穴に遠い方から熱風をゆっくり均等に当てます。
3. 表面も裏面と同じように熱風をかるくあてます。

〈筒型〉

1. 形に合わせて余分なフィルムをシーラーで切り取ります。
2. 筒を立て、上から熱風をあてます。
3. 筒を手でまわしながら側面に熱風を上から下へゆっくり均等に当てます。
4. 底に軽く熱風をあてます。



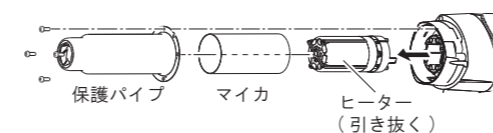
## 6. 部品交換（ヒーティングガン）

- ヒーター取出し

1. パイプカバーを正面から見て反時計回りに約20°回転させて取り外します。



2. 保護パイプを止めている4本のねじを外し、保護パイプ（+マイカ）を取り外します。
3. ヒーターをまっすぐ引き抜いて取り外します。

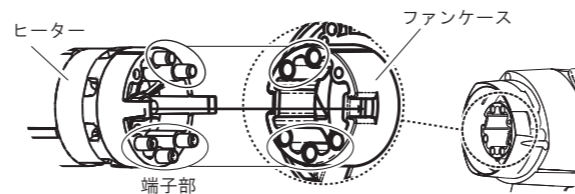


### ⚠ 注意

使用直後の保護パイプとヒーターは高温です。必ずクールダウンを行い、冷却された後に取り外してください。

- ヒーター取付け

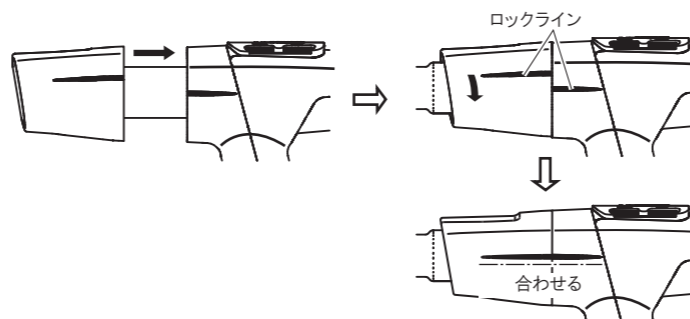
1. 取外しと逆の手順で取り付けてください。



### ⚠ 注意

ヒーターの端子部とファンケースの穴を合わせて取り付けてください。マイカを付け忘れないように注意してください。

2. ロックラインが合わさるようにパイプカバーを取り付けてください。



## 6. 部品交換（シーラー）

フッ素樹脂テープの交換

フッ素樹脂テープは、熱により消耗しますので下記の方法で取り替えてください。

テープ押え板を止めているねじ（4本）をゆるめ、フッ素樹脂テープを取り外し、新しいフッ素樹脂テープを片側のテープ押え板に差し込み、ねじ（2本）を締め、テープを固定し反対側のテープ押え板に差し込み、テープのゆるみがないようにねじ（2本）で固定してください。

ヒーターの交換

ヒーターが断線しましたら下記の方法で取り替えてください。必ず粘着テープも同時に交換してください。

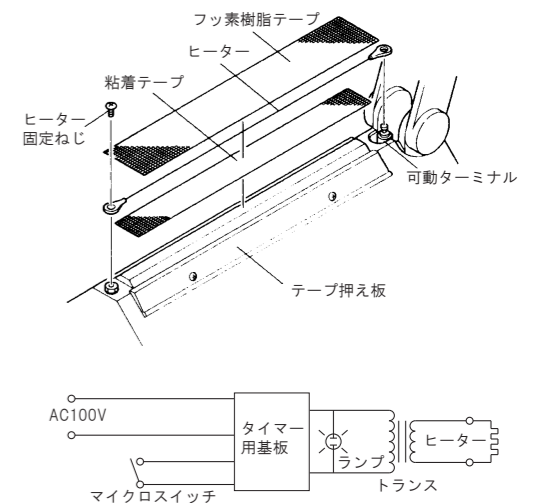
フッ素樹脂テープをはずし、ヒーター固定ねじをゆるめ、断線したヒーターを取り除きます。新しいヒーターを後側の可動ターミナルにひっかけ、前方向（パイロットランプ側）にひっぱりヒーター固定ねじで取り付けてください。

粘着テープの交換

フッ素樹脂テープ、ヒーターを外し、消耗した粘着テープをはがし、新しいテープを貼り付けてください。

### ⚠ 注意

粘着テープの取付けには、方向があります。補助テープの貼り付けてある方は、必ず可動ターミナル側にし、取り付けてください。（補助テープは、テープ補強のため、貼り付けてありますので、はがさずご使用ください。）



点検方法

故障箇所	原因	修理方法
ランプ及びヒーターに電気が来ていない	差し込みプラグ不良	コード交換（プラグ付）
	電源コードの断線	コード交換
	タイマー回路不良	タイマー用基板交換
	マイクロスイッチ不良	マイクロスイッチ交換
ランプは点灯するがヒーターが熱くならない	ヒーターの断線	ヒーター・粘着テープ交換
ランプが点灯したまとなりヒーターが加熱しすぎる	タイマー回路不良	タイマー用基板交換
	マイクロスイッチ不良	マイクロスイッチ交換
ヒーター及びフッ素樹脂テープの寿命が短い	シール時間が長すぎる	シールできる最少目盛にする
	冷却時間が短い	冷却時間を長くする

※その他原因不明の時は代理店に連絡してください。

## 7. シュリンクパックの失敗時に

症状	原因	処置
シュリンクした製品の底が安定しない。	（箱状）フィルムの角の部分余裕が多い。	フィルムの角の余分な部分をシーラーでカットして熱風をあてる。
	（筒状）	底の部分をシールしないで、先に熱風をあて、後で全体にあてる。
熱風をあてるとフィルムに穴があく、破れる。	フィルムの余裕が不十分で熱風のあてすぎ。	フィルムの余裕を適度に取り。製品の大きさに対して、1.2～1.5倍ぐらいが適当。
フィルムにしわができる、水玉状の斑点ができる。	フィルムの余裕の取りすぎ、又は熱風のあて方が不十分。	熱風を均等にあてる。
シュリンクした製品に角ができる。	フィルムの角の部分の余裕が多い。	フィルムの角の部分に熱風をあて、フィルムのやわらかいうちに、指でおしてととのえる。
大きさの違う物を同時にシュリンクするとしわができる。	フィルムの余裕が多い。	小さい製品側のフィルムの余裕のある部分をシーラーでカットする。



白光株式会社

<https://www.hakko.com>

〒556-0024 大阪府浪速区塩草2丁目4番5号  
TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

© 2017-2026 HAKKO Corporation. All Rights Reserved.

2026.01  
MA02888XZ260109